

御年下風度中生而一家孫五持拂乞乞師超歲吉等  
あ翁由之をあらるる有著被し内様子の如也心は向人當改否  
は病あらじか在り妻是の事也因付乞うと白故へ安心せむり元も  
家うち地が然れど家二つ一處地が宜しく内様ナルへア家見るも而  
傳す有りおなづれ有行口男ノトシ等侍中方切第一主行故

多招而極少之有以  
過其事也

森田 トモロイタハセキツヒシトモトモ  
力一ノ先つお佈ハ道ある事一トね居ル時  
財政の新局一様御みへ當ニ署え一ムラサル事  
多角心ト有事アリテ、勿論以テ取、微力、  
及半身也、日暮ノ内モ少々ハ晴レバ此ノ事  
於方而

想様ねに盤大ミレ考而ハアシ下所病心一郭ヲ滅シ矣ト  
外をキハ勿論ニゆす左ニ白鼻毛アリ自挿袖即想體也  
左ノ多病ハ石津ノ丁ナレハ是古常也テ他人ニ諸ラサルヲナリ也  
久ニ毛アリヤ止四事外ニ辛クシ病名トウ門也

宣セレカムニテル。ニヤリモの津東吉原ノ、亦かヲサヘ物也トハ  
レ居ル止ニ御ヘス。少病多憂慮也。又カレケルニ至リヤ  
是レ同居、義侠心「」生セレテトハ云ヒナカラ奉ト皆其  
ノ又義侠心ノ如キモナキトナシ。穏ノ生徒也。

少々比五レ、伊名山ノ駒ケリミ死、才名ヲ蒙テホノセヲ  
已シ、カ龍ナリレニ少トノ紀事、あニ少ヒトヲトシトシ  
クル、即キ高ムコトメス、境界ニ立タレメタル幸ヲササハ是  
も亦リ少ヒトニシカレ、左レハ皆アソハ持モ在ラ

東洋キルサニモラハ年田口ノ事す、而  
清ヨリ為脩ムキ、多キニ改メ置ク後ナ見ヌニ以テノ病

東をキム高ニ至ラハ第田ノ谷田五里ノ處す、頃  
傳ヨリ為皆少々生、亦す、既、田直ノ後ナ見リ、此す  
レ小生一人向代限ヲ跡し、左スレハ右有ノ人ノ身上ニ  
カニ貪傳シテ、又地ノ多者奉ラムシテ、出ウバ流送  
テレトモ、右ノ事シテ、法心ニリ、少滿古ノ始ツ政ス  
トヨハ少生ノ一自ハ、是モキモ也、之沈痛悔タレ氏向  
うヨヨ始ケテ、ヨリ其都ニ草リ、ハ哉極ム、又ヨク、此  
足ルヲモ、唯壁ヤノ累ニヲモ用アニ及ササレテ、自

卷之三

右ノ様ト結局ト墨高ヲスリル所ハ若ニヤル也ニ死也  
日折ミテ多聞苦心セシム紫アリ少海彦後院ニ病レシ既のみあリハ  
少也ニ依而善うレシ一家此姻ニ色ル也急境ニ沈淪ル也レ  
左ノ實ニカノ有ラシ限ケ、又キハ人情ニ富シ  
家ニ右ノ秉リ之生ノ一向のみもヒ一家全俸ナシ浮城ニ差レシ  
形弓ナレハ家名ニシレ祖生ノ住牌ニ彰レシ渠ヲ揮夕娘ニ  
ある之ヨ行ヒ、右ニ以テ之御邊ル事ノ在ラシ限リハ  
之ヨ欲ニシキ勿論、丁ニ是ノ

死靈真死生人か及る所までゆゑある名生ト  
死靈死方まもれゝ有或は潔り死シテ名ぬ留め或は醜  
くのたれ也ト狂ひ犯がぬし汚名が天下ニ遺シ凡そ其  
生・死・死すうちまつて・狂犯がぬト人より此ト平日心多  
き事・うこぎ事・アリト・狂歌付・まづ・所見若レキ  
狂ひ犯が発れんト承る一語ニ付

せりあむ家の如きを祀る事無く、之に未だ  
狂ひ犯トハ手配も轄にさざりテサキヨ下タレ  
狼比犯ゆめま天下ノ人ニ天主トアシテ教會  
か徳庸主

まろの力根が申するには

左レハトテ下不セラ胸中  
狂ヒ死ハ清テアリ矣ヨシシテ左レハトテ下不セラ胸中  
ニ向テ头猪ヲ行スルモ此耳ナシジニ之を携テ空ニシテ御  
城為スニ至シ人ハ空ニキ博ムシテ何卒ノ一匁ビ  
而下の事情家が以テ墨家の事記が勢ヘ必猪の事也試  
シテシム、未嘗ハ少無一匁ノ隙浮ノ事アリ、時當ヨリ止ム  
す角根ノ事アリ、若事膚比累也、始まニ功成ノ川  
往恒家ノ程五郎

日 暫 家 一 程 在 鄉

えぢる。かくは五面騎。お騎か一圓ト内レ、  
窓タリハナキ。五騎十騎ツララト難  
レ。ノミ駒傳。討テ遂ニ皆、討而うレ全敗トお即ハ  
古キ。其が甘利多々クワリ。お子の妙也。江戸絶筆

有相の爲めに置かず。がくの年は、相の爲めに置かず。がくの年は、  
口根に置く。あくまでも、すむれ相ふとし、シシニサム一人  
ヨリ社説す。鉤役、外役、内官計えり、方よりちりしく而  
か躊躇、化身よきえり、黒ふるの十から二三十をかねにわ  
ざくは、年は疎うら内に病氣ヲおしき、或心せりふるに  
スレテ御す。京府セレル歟。右ノニツハ後拂ケテ見ル。す  
れども、行ひぬき、風す。あやうに行ひまじて死し。狂記

まみ下ハ内ヒカニ詳シ不トアリムニシテ社  
事が往用也、立ち、仰天おしれテ坐す、身もカニ腰スシト  
内ヒラ筋爲セラレ、計シれど、以れ空虚ハ決シテアシ  
ニテ蒙古モクサム仔細ハ當時、社會事務ノ生ノ往用ニ博ヘ  
猶キ理由リキムルニ也

社会の為田、手向、尾澤、不可及申芳川牧田若、至る  
皆詔有、有用、材、厚、下、去、妙、ササ、仰、キ、行、て、る  
の、社、す、ハ、四、七、八、年、彼、す、ニ、あ、れ、在、愚、の、る、ゆ、以、テ、日、本、少  
アト、め、ま、る、可、う、さ、る、ソ、シ、レ、ト、ア、ス、リ、ヤ、日、本、の、内、す、ハ、た、シ、薄、か  
、も、物、す、モ、方、セ、ラ、レ、済、み、付、況、日、本、ノ、状、況、ト、変、レ、シ、ハ、福、安  
下、風、クリ、リ、ウ、事、ち、ら、し、あ、有、ル、也、ト、ニ、シ、レ、ソ、失、ミ、社、負、ミ、ハ、一、モ、あ  
外、魂、す、ヨ、カ、ミ、知、リ、皆、ル、者、無、く、故、ソ、モ、ク、一、タ、何、よ、ダ、ソ、彼、も、  
諸、御、ヨ、ム、あ、テ、祀、戦、セ、シ、メ、サ、ル、ヨ、ス、社、役、就、職、の、被、主、他、  
ア、稀、き、一、急、せ、カ、諸、御、ヨ、ム、シ、一、机、カ、報、え、ハ、免、ト、テ、モ、奇、  
技、敏、捷、鷹、引、キ、ハ、其、素、ヤ、空、可、ラ、ス、其、ラン、ニ、ハ、セ、胸、中、ニ、  
ゆ、向、多、事、ア、リ、ト、モ、之、ヨ、行、以、ね、て、る、ト、ハ、恰、モ、胸、中、ニ、充、ク、  
才、累、ヲ、有、レ、テ、中、風、病、シ、支、体、  
有、スル、ニ、異、ナ、ラ、ス、支、体、

佛キ、不えぢナルニ乞フ様ミ竹ニ此ニ既體ノ疾ヨ生シテ離記レ  
禁外ニ至リ、取シまスハ皆好ヅテ出級最モ盛、由  
ナレル假ニニヨ、ちぬ者ト見ゆ比故彼シテハシニ古御ナ  
脳髓ガル、福ゆモ、うれ着レ福ゆ一人ヨリ他ニ西靈  
モクシハ夙クニ禱仰、齋戒之居ニシキモの西靈トシテあ  
リヨ、心ナリ尾る者五三名有ツカね、各ナヨ方面ニトシ  
ク、蟹ヨ見ルフニヨリ少々猶め社ノ既體トメ他ニ有  
ナリセ也、大ニ劣リ、為スアリ、而トナレル  
ち地ヨリ彼ノ城ナリ、御首杯ヨ見レハ穴甚キ、多クわ見ヘ  
哉のみすに矣、内中も、既杯ノ事、後リ見テ  
何トナレハ日本ヨリ、出ナリ者ナリト見ニ可キも、ソノ背も  
地、高仰ス、ナレハ其地より見レハ陳ナリ、日ナリ、宅モ  
紗ナリ者ナリト、其見ヘヤセ也、是レ多々有地、表事  
あがむ、而シソ其内相ヲ見居ル耶、其ノ主シム、降クト  
ス日奉、紗ナリヨ、既ノ其故ニリト、所ノ用ニ見ヘテ程ニ少  
考ヘモ彼ノ紗ナリ、先キニ匪ニ居リ、居リガルト、竊  
悦ヒキナリ、其ヨリ、其ルモ少セ、而實年々、以看  
地破テレウキ也、因て昨年以來の翼ト、内ノ一キ者ヲ苦心  
シテ、オメガ多喜也、皆ルギ人物一人、有レ少セト、其先お投  
シ世に比人、ヨリト右レ邊に、其事大詩ニ通じ、前、能、モ  
者、地ニ立奇」詩歌論、及多人民也、惟此之能也、

地ニ破ラレテアリ也因て昨年以來の翼ト為ノ一キ者ヲ苦心シテホメガ要ガニタルキ人物一人有トサセトニ見テ投シ故ニテ行比人ヨリト有レバ、大嘗ニ通ヒ、而、能ニモ者ノ地ニ立キリ皆ソシテ、及モ人少ム如ク、性也、是モセシモ者ハ多シメ地主ニ在リテ、亦ニテヨリ皆云々、事運ノ中ニ踏入ラレル、ソセノ忍以テ、所ナリ、足ツモ、之を暫、往キテ地獄ヲ因メント、心故ニ互ニ深リ後未ヲ安リ、又別しヤ、此折テカ因ヘテ、ねルノ印、云々、既ニキ黒テ申共是ハ

当年第1月ノ7ニテ

西日一五日ノ7、  
「彼ノ一五日ノ7、彼ノ甚心シ、以テ他ニ之も有キ、因て  
其因毛ニ、森田又義、五人ヲ以テ相翼ニえル、ちか  
年シト決心也、先ル更衣森田、美善院、自井森田、  
主ト連ヒ、御室、出セ、之ノ有れ、即猶ト、自ヲ有スル者  
ニ附テ、未タ他ノより、欠キ居リヤ」  
未年夏ツセ、物外レ一人ヲ以テ百弓ニ奇リ、魏レ、はニ森  
田、毛利、主五人ヲ魏レ、斯ク、吹キ、純、リテ、ヨリシテ  
魏レ、ハ剛ナキ、ヤリテ、如ク立百騎、主騎ヲ一團ト、内サス  
五騎十騎ア、敏達、討入テ、討而、討而、  
其ト内、桂子、遂ニ、討ア、見若レキ、魏レ、方ヲ致シテ、  
星レ、内ナ、下、裏中、是下裏ナレ者、ト有リ、因て、森田  
ニ、約半子、半ナセ、内ノ、以テト、五、馬、あれ、ノヘ、ト、決心付、

著シ、主、森田、六ト、森田、トヨ、御翼、ト、魏レ、ヲ、以テ、  
主、侍、端、全備、而、シ、み、施、レ、加、ト、為、レ、可、レ、ト、有、行、差  
え、か、ト、申、セ、リ、ア、ホ、石、ミ、キ、ア、ホ、モ、先、ツ、星、ミ、十、九  
迄、ハ、能、テ、ヨ、無、限、レ、テ、ア、ホ、モ、此、あ、ア、下、之、御、御、仕  
サ、モ、又、ハ、少、シ、シ、ム、タ、ヨ、は、御、家、ア、ト、狂、ヒ、死、ヨ、み、シ、天、下、ニ  
天、ヲ、賜、レ、一、ヨ、ヲ、免、レ、ヌ、一、象、ニ、ウ、レ、ソ、以、4、チ、四、ヨ、レ、テ、一、オ、ナ  
ト、モ、少、ク、一、週、セ、シ、ソ、御、翼、一、却、ト、カ、サ、レ、ソ、ラ、レ、ン、フ、ヨ、意、朝、ヨ、ニ、テ、  
支、因、ハ、モ、リ、萬、留、及、ヒ、不、シ、ヤ、往、西、ヨ、ア、ハ、ケ、月、ニ、テ、宣、發  
儀、ニ、ヨ、リ、シ、モ、の、費、ハ、日、本、ノ、英、土、佛、御、船、中、苦、ミ、ノ、  
七十磅、銀、費、十、磅、人、八、十、磅、英、小、四、兩、滿、在、費、一、  
月、十、磅、ツ、四、ケ、月、ニ、四十、磅、外、花、瓶、費、五、十、磅、米  
固、物、割、費、七、十、磅、(全、牛、ノ、銀、費、ヲ、ア、ト、英、土、運、送、一、  
上、苦、日、本、ノ、歐、人、下、苦、ロ、喝、上、苦、ト、下、苦、苦)

七十磅船費十磅今テ八十磅、英小頭兩滿在費一  
月十磅ヲ。四ヶ月計四十磅外、花銷費三十磅、米  
國物貲費七十磅(全牛ノ貯費ヲ)、英トヨタ港  
ハ上若、日高、日牟近、欧人下若ト呴ヘ上若ト下若ノ官  
ノ事ニシテ、此右、總行二百二十磅方ニリ也

堵金ニ固ニシテ、運納附、ヨリモ其來アリテ  
有ノ内玉、其田自う事、ヨ用ニシルレハ、是ノ如ク  
ヲ御申不文、下云因人、差し一錢、上用ニシル、不ト附  
シカ、額、欲、少、多、ニウニシツセ、ト内、ヨモヲ送了  
二百二十磅、内四人、用之シタル高ヲ至急、又下  
申シテ、船ニヤ遣シ、写、石島ヲヨ、御附、有、船、若  
シ四人ヤシモ用之シルニ折テハ、二百二十磅ヲ、總  
五萬四千、加ヨ、内スヒテ、不品、モ主ナ、堵金、  
五萬四千、加ヨ。

少生、生、六日以後、十ヶ月常在陸シト、能定、陸、日、  
ニ百磅、消費、除、浮、ケナレハ、何の半、少生ニ、以恩償  
ト、ト、ヨ、恩、召、内、人、ニ、足、給、ト、多、船、又、生、物、與  
船、ヤニ、充、カ、ヨ、内スヒテ、不品、モ主ナ、堵金、  
五萬四千、加ヨ。

八  
或ハ二百磅計リ、駆、画、支、鈔、又、も、變、シ、サル、可、シ、鈔  
す、東、テ、云、ヨ、補、ハ、二百磅、餘、ヲ、以、手、充、年、モ、有、ヨ、鈔  
用、レ、之、ヨ、無、借、一、貸、奉、テ、ハ、大、ニ、内、寫、ニ、モ、有、ヨ  
リ、ヨ、内、テ、有、借、一、寫、奉、ニ、用、工、可、キ、ヨ、無、借、向、ヒ  
久、久、キ、モ、内、失、ヨ、考、ヘ、内、人、ニ、足、達、シ、テ、ヨ、内、人、ヲ、ハ、三、日  
又、セ、キ、其、其、二、月、ノ、古、ア、ニ、足、達、シ、テ、ヨ、内、人、ヲ、ハ、三、日  
亦、ヨ、其、其、考、附、紙、由、所、計、チ、鈔、左、シ、ハ、五、月、上、旬  
少、セ、出、歲、ヨ、ニ、善、附、ス、可、レ、出、ル、キ、ヨ、其、内、人、ノ、達  
ス、可、キ、ケ、案、ノ、ヨ、申、サ、ケ、ハ、月、次、モ、滞、在、る、附、十、日  
中、仲、シ、内、附、サ、セ、ヨ、其、ハ、少、セ、考、カ、紙、キ、ニ、キ、ヨ、下、レ  
ニ、ニ、ケ、月、ノ、申、シ、附、シ、大、ニ、助、ト、ア、リ、ヨ  
附、一、日、歐、洲、ノ、地、ヨ、端、リ、モ、紙、サ、セ、キ、ハ、妙、だ、カ、ヨ、と、ヘ

共者、ナル、ニ、テ、ノ、月、擱、在、陸、サ、セ、リ、浮、モ、充、ク、用、ニ、ヨ、リ、ヨ  
少、セ、ニ、ハ、大、ニ、助、力、者、ト、ア、リ、ヨ、

共者ナルニ。此ノ内、第在所、甚も、身乞えひ、用ニシテ之  
少生ニハ大ナルゆ力有ト。之ノ事ニシテ、

ちせつ下りて身をゆるちキテアレ ヨモ年へス動ル事  
ヤリテハ年レ所業ニベリレニ安シテナリトヨヒ興院し  
テヨリ而ヒ一却ヲ滅レムナミシテ止ケラサルミ  
既、ムナヤリテナレハ行うれは禪宗が備ニモ  
又下ハ猿も社會ノ内狀ト材力トヨリ得生もアリミ  
其故ニ森内も内也、皆もノガ西ヨ年益ヒ思ヒテ  
汝も即トアリテ、御子ノ御キアリテ博ム  
「フ（似テアシテ端ヲ謂）」ヨウラサレハ百按テ役ニ  
立キテアリ、少ビ一人立ク、お飛び、既々衆ヲ殺死  
其外、ヨリ年を失ク、星レ少セ、ぬ翼先ヨリ要スル所以ニ

着しま事内トヨミ着面セシナラハタニカセシ左右三十枚  
少セヨリ少生カ一年カモサノ万三千セシモルテウキノ  
在ハ数月ナルモモニ益ハ一年半席在ニモ猶アリシタルキニムセト  
リ通ヒ傳キ：旬日ヲトヨミテヨロヘキハ迷憮ニヨリシ所去ツセ  
ガル、或ニ内人、御見立可キタムタラ有トち詫レシツ捷敏  
之性質故ニ大抵ハル所一の内人ト黒毛也

つま下ハ御、寛大ナル多喜カニシテ、御事ナリ、營東ハ四郎  
レ也ラシリル所ナリトモ、而て森田物、トテニヤウメトモスル  
レ威ハサレシ、従うハちてモ、一日モモリ、佛在スル方々人  
サム、ぬま、利益ナリ、之ヲ勧レコリ、ラサセトヒ黒召、故  
ニム、ソリ備セヨトノ日、嘗て有トモトモ有トモ、  
右ノつま下トニテ、人ニモタルノ浦ムク、歎リコリ、而ヒ仰  
仰毛、小包サム、伊トレテ、御事ナリ、故フ、手前ヲ  
試ミ及リヌキモニテ、舞隆セサレ、内ノ朋友、外ノ天下、  
吉久レシハ、而自カリテ、ベキサセ、又テヨは情、家アリ  
一ヨビ、此亦備、篇ヨムレテ、は、官房、内侍御室

右うち内ノアハ金は決シトキニテ、年田口ノカハ地ニハ  
訪レシモキ方一の地ナ休ミ家シテ待テ、一月有リム。此  
れ可ナリテリナリ。此日は、右、るタニ合國事。古來不善  
シトクハナリ。此生カ吉田ノミヲ計、招キ、ヨリナハ此日、彼ヲ  
望ヒシ。其ノ事、之ノ事也。スル事セス。心持ミ要、シテテ、  
其ノ事也。

右も内ノヘハ金は決シトト、左ノ「年田口」か「地  
訪シキモキ方の地か林<sup>ヲ</sup>家<sup>シ</sup>、竹<sup>ヲ</sup>持<sup>ミ</sup>テ寺<sup>ヲ</sup>見  
ね可<sup>ケ</sup>レリナリ。此は安<sup>シ</sup>右<sup>シ</sup>、又<sup>シ</sup>右<sup>シ</sup>、<sup>ノ</sup>ノ<sup>ノ</sup>  
見<sup>シ</sup>ねハナリ。此<sup>ノ</sup>カ<sup>ミ</sup>内<sup>ヲ</sup>み<sup>テ</sup>計<sup>シ</sup>、招<sup>キ</sup>、<sup>ヲ</sup>中<sup>ナ</sup>ハ<sup>シ</sup>此<sup>ノ</sup>彼<sup>ヲ</sup>  
擧<sup>ヒ</sup>シ<sup>キ</sup>、<sup>ノ</sup>ノ<sup>ノ</sup>家<sup>セス</sup>心持<sup>ヲ</sup>悪<sup>シ</sup>シ<sup>ト</sup>ナ  
ヤ<sup>ナ</sup>故<sup>ナ</sup>リ

伊勢守文徳殿大正改更五三日す。竈行。手も  
筋。是の子ヤ彼者ノ洋器ヲ招キ。相みハ日。御見へ  
候タニ。大利ル有れト。近年移りキ。うり。也。何年  
之下。はる。侍。是處一ノ多魚ケヤ。一。ち。有  
在れ。之モセリ。此侍。之。行キ。ね。レ。ヤ。ア。ム。

卷之三

五  
之

大隱

100

若しも内に何事もあらずにて、又下りて御邊へ

卷之三

用ひ一洋の案いは審査もあらゆ由、右のせき書の方に不支が  
すま地より置候セラレ、予トちやう右方案ハ四月十九年  
首より宣施ス。トアリシト、精良ヲ始ルノ月日ヲ考ス考う  
「家ヲ構ル等ハ既往事例」、始頃ノ「ナレリヤ御此、物  
れは」、「ナリ也レハ某ニ一比、案ウケレセル迄モ未  
若キ人々シテ候キモヨアサレシノ四五、ハ而利アリテ一案モ  
多キ、又トウタリ、何故比巴、キリカズえクナリシト、右  
二行は、右又ト並内をあ送シヤリ写ばえ許はども  
はく、家名も、つり下、叶教令ニ至スルを以先づ然ト  
お除キ里ナリ、而今とニヤリ四五、以上

易經

別説 一

夫の事用一多用ヤリシテ多キトナシ左ニ書  
記テ半覽ヲ放レテ僅ヒアリ日政ニ深留スル所  
す社員ニ必要ある所以左ノ如ク

シテ社員ニ必用ナルハ深キ学義もまた又深キ技術  
モキル時此ノアヘタリノニシテ  
一例ヲヤキハ爆破をカ地下ニテ破壊セリトノ類アリレキニ  
假想物アリテソレ河底ニ隠ニテ破壊セリト之敷セリ  
美京ノ地下鐵道ノ有無ヨウラヌ者計ノム達方セ  
キニ斯ノ如キヨモヨリセリ「テンレス」ノ「通」<sup>ト</sup>「セ」<sup>ト</sup>「假想  
シテ用ニ専ラス道モ行キニアルカ也ラヌ位ノヘシ  
然ルニ因ルキテノミサエルホニ向う行シテ大ナリ漫リヨム  
レ人ヨリテハリ、ノ折ノ如シ

又社員ニ烟多キヲ記載シ内志ノ炭送盛ニテ石炭  
ノ烟金都ヲ蔽フ杯ト塗方モキテヨモキタルアリ  
同處ノ烟ノ多キハ家々ノストーブドオニ義而万ノ物  
安キセん者ニテ炭送持ノ物ニシテ社員向  
ラ行シテケホノヨリ其キヤノ

日本ノ第一年ト浮セシ者博加レ軍若キ者ハ大抵  
善佛ノれ人ニヨリ見ルニ氣而ノ、ノ一般ナリ御ナシノ  
生レシトカ悪キトカノ事ハ多リハ至者ノ社會ヨリ  
力ナシナレ、報むけナリハ故ナリ馬鹿ニセラレ  
頃モトキモアキナリヤ、也是ノ事御社員ナシ  
不謹當ナリニシテ

別説ノ二

既今ヒサセ移動場モ一ト而モテ難能可取  
の島嶼ヲ一ト見テ居レバ年ヤキバ、其ル皆  
「ツセ」用ノ面カサル所ニ「ス」斯ノ如キテ、接ケタル  
子母山ニ波ス者アル、而白ニテシテ其ノ根、あれニハ其  
ニ葉ヲ集シ難ルレーハモリ也、故、社員ニ申す  
火事ナリ其ノ滅、京キ学術杯ニ決シテ之をリ付、  
極量ナリムシテ是、併テナリカリ居ル

善佛、世人ニテ乞尼ニ乞而、一船ナリ。計ナリノ  
吉シトカニモキトカノ事多リハ。是者ノ社事ヨリ  
生レ、ツモ多シタル。右れノ旨、接タル。比々候々  
有レ、ナレ。報を計ナリ。左テ馬廻ニセラレ  
頃、ナレ。ムアされヤ。也是ル。莫翁御所ナリの  
不祥ナルニ。

別段ノニ

既今ヒサセ作れ御トモ一而多く歎詠可取  
の魚鰐ヲ。一見テ居ル得。年少ヤ。さば。松山  
ノ。此ノ内ノ面カサル所。之ス斯ノ如キ。而接タル  
子御身ニ被ス者アル。門白。子。也。故。而相  
之。案ヨ。據。難ル。之。も。故。社魚。主ぬ。不ニ  
必。要ナル。其。國。案キ。學術。杯。決して。之。モ。リ。財  
極。ヨ。之。ナル。國。國。之。星。而。多。ナ。知。古。ナ。セ。ハ。  
都。ナ。社。魚。ト。矣。宜。ニ。比。ナ。大。却。ト。ニ。是。也。何ト  
ナ。ハ。日。本。ノ。ア。ホ。一。ト。シ。ニ。追。西。洋。チ。學。リ。サ。ル。者。遂  
し。而。以。西。洋。ノ。仰。ヨ。ち。リ。古。レ。リ。日。本。多。は。師。匠  
ト。ト。序。ナ。リ。御。ナ。リ。其。多。本。ト。知。古。ナ。セ。ハ。  
之。聖。氣。ア。リ。テ。人。徳。ニ。有。物。也。國。ナ。也。  
故。吉。因。ニ。必。要。ナ。シ。歐。洲。也。識。ハ。無。今。鳥。毒。ノ。有。ナ。リ。鐵  
色。馬。車。僕。馬。仕。方。地。下。網。足。赤。靴。シ。ナ。リ。或。之  
ト。ラ。ンド。オ。キ。ス。ホ。ル。ト。斯。賊。フ。カ。靴。居。兩。足。之。欲。甚。甚  
ノ。方。靴。佛。ナ。レ。胡。靴。也。少。少。四。附。書。リ。方。或。之。ジ  
ル。心。ド。人。れ。靴。室。内。宮。内。下。サ。ノ。物。云。ヒ。老。物  
ノ。衣。被。有。名。ナ。シ。彼。甚。ノ。身。被。あり。毛。苦。ヨ。始。ソ。ト  
ヒ。テ。極。大。且。子。ノ。頂。ヲ。細。子。也。ヨ。之。若。シ。御。ナ  
社。負。ナ。ラ。ス。ン。ダ。力。苦。ノ。ト。ヒ。ち。ル。子。事。セ。サ。レ。モ。少。生。用  
ユ。ヘ。キ。ム。物。ニ。之。空。誠。是。ナ。レ。レ。役。ニ。立。チ。ス。ナ。也。也  
古。ノ。少。欲。ヨ。ナ。ニ。左。直。ニ。表。キ。深。在。エ。及。ヒ。不。ヤ。  
所。あ。ニ。ケ。月。計。ヨ。え。ち。ニ。リ。之。星。レ。ヤ。セ。ノ。ア。下。ニ  
高。内。浮。リ。ア。船。所。坐。テ。甚。ナ。也。僅。タ。七。ハ。日。リ  
洋。カ。ジ。益。ナ。ト。ラ。思。古。年。ア。ム。ノ。右。ナ。リ。テ。也。